

回	開催日	所長報告	すばる運用	UM、シンボジウム等	光赤外専門委員会	Gemini	プリンストン&アジアとの研究協力	その他
SAC1	2008/4/17	SACへの審議依頼事項、WFMSO交渉代表者及びHSCのCDRLレビュー委員の選任、Geminiとの合同観測計画、台湾との研究協力推進	・ToO発動手順の整理と公開(寺田) ・今期は今後10年間のすばるの方針を決めていきたい(委員長)			Subaru-Gemini Science Conferenceの開催(2009年5月京都開催に決定、SOC/LOC選任)	HSCのCDRLレビュー委員の選任(市川氏)	・委員長・副委員長互選 ・UH/UKIRT日本時間のTAC選任
SAC2	2008/5/14	観測所の将来計画(国際外部評価、NAOJ教授会、学術会議への報告用)の報告のDark Energyの項に「pursue a single fundamental goal」とあるのは不可	TAC委員長報告と提案(外国人のみによる時間交換枠への応募禁止、サービス提案のSJ和訳の付加を許可、Geminiとの交換の縮小? ToOをGeminiで?)			・コナ会議での日本側の意思表示の仕方(共同利用の25%以上) ・資料:コナ会議/スカラーのメール(Gemini側の懸念事項等) ・日本側の交渉代表者の選出(山下委員と本原委員)		UH/UKIRT日本時間の審査体制の再考(田村)→TAC委員1名の追加(小林尚人氏)
SAC3	2008/6/17	学術会議にヤリング(6/2)報告(所長)・もっと装置開発等で大学と連携すべし、SPICAとTMTの棲み分けを明確に、といわれた。		・三層で赤外/PI装置のWSを開発する(観測所はPI装置を奨励する新方針)←学術会議にヤリングを受けて ・UMの日程を2009年1/14-18に決定。		・コナ会議報告 ・Geminiとの今後の交渉の進め方:WGの立ち上げ、Geminiの装置提案を日本からできるように ・京都会議SOCリスト及び準備状況	・総研大&すばる「アジア冬の学校」開催計画報告 ・アジア諸国との共同研究の現状	大内レポート配布先報告:阪大、三重大、学芸大、岡山を追加
SAC4	2008/7/15	・NAOJの国際評価委員会報告書よりすばる関連部分の紹介(TMTへの参加とMでの時間交換を重要) ・最近記者発表が少ないので成果を挙げている人に動いてほしい。	・主焦点改造に伴って2010年に2ヶ月半、2011年に5ヶ月半のダウンタイムが生じる予定(所長報告)。 ・データアーカイブ整備の方向性:現状(有名天域データを検討中)報告⇒同じフィールドの複数のデータをまとめられないか?		・光赤外専門委員会とSAC委員が正式承認された。 ・水本光赤外専門委員長のコメント:今後国際協力が重要になる。SACと連絡を密にして活動したい。	・WFMSO WG検討会(1/7)報告:WFMSOができない場合も想定すべき。分光器の日本独自提案? すばるのダウンタイムの期間Geminiを使う? ・光天連シンボでのWFMSOに関する議論の進め方:2020年の所長報告と検討で具体的なイニシアジを提示 ・京都会議SACは千葉氏とT. Beer氏	・プリンストンとのMOU最終稿の紹介(幹事会を通過。次は運営会議→機構本部) ・冬の学校の日程決定(12/1-5) ・アジアとの共同研究についてアンケート調査をして一覧表を作成する	
SAC5	2008/9/16		・SEEDSチームの進捗報告(日本の主要大学を網羅する体制ができた。ターゲット選定会議を行い、最初の2年間はほぼ決定した。S09AIに5夜のサイエンス観測をいいたい)	・光天連報告:SPICAタスクフォースを光天連内で組織することになった。 ・京都会議準備報告:LOCの仕事は経路が案内を早急に済す必要あり。WFMSO会議でないことと宣伝が必要。	・すばるの将来像(2020年を想定)についての議論をして光赤外専門委員会に提示したい。キックオフとなる座元で議論。各項目を委員が担当して次回までにまとめる。	・WFMSO交渉の日本側代表は山下委員、本原委員に加えて、林所長と唐牛氏に決定したとの報告(委員長) ・11月にChris Padgham氏がGeminiの紹介のために主だった大学を訪問する。	2009年1月のUM後にJapan-Princeton WSを予定。	
SAC6	2008/10/14		・SEEDSの観測開始時期について⇒S09A(性能試験の結果が出る前)に共同利用時間を使うことは不可。サイエンス5夜は所長裁量時間の使用を観測所に提案。性能評価には山下委員と観測所の1名があたる。		・2020年へのすばるの戦略(提言書案)の検討⇒10/18の専門委員会に一度提出し、最終稿を年度末までにまとめる。	・WFMSOの第1回交渉(10/28)に向けての検討⇒Simons所長の提示項目の問題点について(WFMSOはすばるの共同利用装置になること、すばるに搭載することが日本側の貢献分であることをまず確認する。日本側のWFMSOチームを早急に立ち上げるべき)		ALTアンケート中間報告:時間交換については賛否両論
SAC7	2008/11/11	・観測装置WSは延期		・UM準備 世話人、大まかな日程の紹介 WFMSO議論の進め方の検討		・WFMSO第1回交渉報告と議論 費用負担の不均衡をどうするか⇒等分の負担とみなす、ということ交渉	N-PAC councilのメンバー決定、MOUIに双方が署名完了(所長報告)	第2回国際研究会、京都会議、HSC研究会の準備状況を簡単に報告
SAC8	2008/12/16	・FMOS公開の見直し、イギリスとの関係(FMOS時間の3割を使う約束)	・S-Camの将来計画(デコミッションの検討を観測所内でする)	・UMプログラム検討 SAC報告、WFMSOセッション(C.Packham氏に参加依頼)、他		・D.Simons氏、K.Hanman氏との懸念 ・WFMSO交渉上の問題点(at least 300 nights)という文言、時間交換の拡大、コスト負担の不均衡	中国との研究協力についてはまずUMに参加が前提	VLTAとの時間交換の可能性(アンケート結果の検討、南天へのアクセスからGeminiがある。MS適合機との距離、ダウンタイムが有る時期に可能か?等消極意見)
SAC9	2009/1/13	・HSC概念設計レビューは3/2にヒロで ・すばる10周年記念式を今秋三層で開催(報告集も作成) ・FMOS/AO188のGT方針(右欄)	・FMOS/AO188のGT方針 (GT領域の公開・非保護) ・外国人APIによる提案の増加について(日本人をCoreに含まないものは少数なので状況を見守る) ・HGICIA+AO188試験観測報告	UMでの議論の進め方について(WFMSOは有力な装置なので交渉を継続したい。交渉はSACを信頼して任せたい、と表明)		WFMSO交渉報告(Geminiからも出席)	中国との研究協力(善利訪問が必要)	VLTAとの時間交換については時期尚早
SAC10	2009/2/17			京都会議参加奨励案検討→すばるのヘビーユーザーにメールを送る	提言書の改訂(AOの項目追加、SPICAの進捗) 3月の専門委員会に提出	WFMSO交渉報告(時間交換、費用負担、共同装置開発)	中国との研究協力(多数名で訪問)	
SAC11	2009/4/21		・SEEDS観測時間の予約(S09Bに共同利用から5夜、観測所時間から5夜予約) ・FMOS時間に関する水銀への所長提案案(UK側が30%使用する件) ・HSC/マルチポートケース ・HSCデザインレビュー報告	すばる春の学校の案内		WFMSO 設計チーム選考結果報告、MOU案の検討		ALMAとの連携(立松・井口)
SAC12	2009/5/27	・WFMSO計画中止の報告 ただし補正予算に申請予定	・FMOSIに関するUK側との交渉報告(UK側がFMOS関連カテゴリのレフェローを1-2名ずつ指名する?) ・HSCフィルターリシー ・FMOS戦略提案の概略/スケジュール等 ・WFMSO3種の装置について ・International Proposalの増加について	京都会議報告(約200名の参加で広汎なサイエンス)		Geminiとの今後の協力関係(情報交換を密に、装置情報の共有) Gemini-SACとの交差点(※ 京都会議)		TAO65Mの装置をすばるにPI装置として持ち込み計画
SAC13	2009/6/30	・FMOS様の装置は村山機構長PIで補正予算に申請予定	・日本人の論文生産数が落ちたではないか? → follow-up アンケートの実施 ・FMOS UKレフェローの補足説明→承認、FMOS委員会の日本側委員はSAC委員長+TAC委員から1名(TAC委員長の指名)、FMOS戦略枠(共同利用開始と同時になく、1期後の予定)			Geminiから時間交換枠を5夜から10夜に拡大してほしいというオファー→S10AIに最大10夜で試行	コロナグラフをすばるに持ち込みたいという中国のグループからのオファー	・ゲッテンゲン大学の共同研究報告(赤外のRV測定器) ・Gemini/Keck/VLTの公算システムの紹介(勉強会)
SAC14	2009/7/21 於 東北大	・IROCアップグレードのための料研費は3000万(分解能を7万に)	・第6期TAC候補者選任(光天連推薦とTAC推薦を元に新任候補として相川、長嶋、伊藤洋一の三氏) ・インテンシブ枠拡大の検討、すきま時間種利用の検討、悪条件観測枠の検討を次回以降行いたい	・第3回すばる国際研究会の検討(恒星:銀河系分野で2011年3月) ・Subaru-ALMA連携の銀河分野の研究会を今年中に ・赤外/PI装置のWSの開催	次期TAC委員候補者の推薦	Geminiの装置のサイエンス研究会(国内研究者による)をやってはどうか?	LAMOST訪問報告(有本)、中国との共同研究の進め方	東北大学院生・スタッフとの懇談会
SAC15	2009/10/1	・WFMSO様装置の製作のためにIPMU機構長に補正予算が配分される見込み ・国立天文台将来計画懇談会が発足。所長と臼田委員も世話人。	・共同利用ユーザーの動向について(個人別採択夜数の変遷の資料-匿名を参照)フリーディスカッション ・HGICIA性能評価報告→第1回戦略枠SEEDS観測開始の正式承認 ・FMOS進捗の報告(GT使用予定、戦略枠提案準備状況) ・悪条件プロポーザル提案の検討→UMでユーザーの意見を聞く	・すばるUMの開催日報告(1/13-15)		10/14ヒロで開催されるGeminiの将来装置計画WSにすばるからも出席する(SACからは青木委員) (所長報告)		
SAC16	2009/10/20	・当初配分される予定だった予算が大幅減額されることになったので、WFMSO様装置の実現は難しくなった。 ・カナダのビクトリア大学からMOAOの共同開発提案があったので応じる予定。	・次世代ユーザーの育成方法について⇒院生枠(10夜/セメタ程度)の創設を検討してはどうか? UMに語る ・外国人PI提案の急増(夜数比で30%)について再検討⇒20%程度が適正比率ではないか? TAC委員長に配慮を要請する。	・赤外/PI装置WSは来年2/18 or 2/19開催の予定		Gemini将来装置WS報告I(青木)		・JWSとSPICAの現状報告(松原):SPICAは正念増にきており、メンバーが足りない。 ・ALMAのサイエンス計画の進捗を知り、すばるとの連携も検討したい→関係者をSACに招く
SAC17	2009/11/17	・HDSの将来についての一案としてGRANTECANIに載せることも考えられている。 ・SUMIREはIPMUが補正予算獲得を目指している。	・持ち込み装置受け入れ手順について⇒観測所案の検討、特にSOSS使用の推奨と所有権(共同利用データと同等に扱う)について確認 ・戦略枠 望遠鏡時間シミュレーション(戦略枠は共同利用時間の最大25%という制限の維持については引き続きを検討する) ・TAC報告→短時間で長期にわたる観測をどう受け入れるかについては次回以降でSACで検討する。	・UM準備報告(会期を3日間から2日間に変更、3分ずつのホスター講演を設定) ・赤外/PI装置WSは2/18or2/19に変更	望遠鏡診断グループ報告(ハワイ観測所でインクビューを行い、仕事の流れや現状への意見を調査)	Gemini将来装置WS報告2(高遠)		・カナダとのMOAO共同開発について大塚氏を日本側PIとして検討を開始した ・PASJ (Impact FactorでA&Aを抜いた)ですばる特集を組んではどうか?(有本) ・共同利用係からユーザーアンケート案の提示→望遠鏡時間についての議論は時期尚早なので再考する
SAC18	2009/12/11	・休止	・戦略枠の議論→上限25%は議論を尽くして決めたもので当面遵守すべきだが、UMでユーザーの意見を聞くことにする。					・ALMAとのサイエンスの連携(百瀬:惑星系形成分野、河野:銀河分野、立松:公算計画) ・PASJのすばる特集は検討する
SAC19	2010/1/13	・来年度の予算配分について(臼田副所長):NAOJへの運営費交付金と特別研究経費の額は決まったが、ハワイ観測所への配分額は未定→今後の減額は避けられればOK	・HSCフィルター選考委員の選出→有本委員長を要請 ・SEEDS中間審査スケジュール→2010年11月頃1年目の報告、2011年度に中間見直し	・UMでのSAC報告について(院生枠創設の提案と望遠鏡時間シミュレーションの提示がメイン) 4月以降に観測所装置のWSを開催する予定				・ALMAとのWSは本原、田村、有本の3委員がすばる側世話人となって進める。 ・次年度のSACへの引継事項を準備する。
SAC20	2010/2/22	1/27にAO188の可変形状が破壊した。復旧は10月頃代替の可変形状が届いてからになる。	・左記のためS10AOのAO188観測はできなくなり、TACが13夜分の追加採択を行った(S11A&Bで補填)ことの報告 ・第2回戦略枠公募の準備に入るよう観測所に提案	・UMでの議論を振り返る(院生枠は設けない、公募時間が減ることの実態はまだ不足)		Geminiとの協力関係に関するMOU案について了承、キューモードでの交換の可能性について議論		・PASJのすばる特集号について検討を開始した。 ・S-Camのデータアーカイブについて、Lockman-Holeの一部の領域について→連りの整理が終わる ・次期委員候補者のSAC推薦4名の決定 ・三層地区院生との懇談